

平成 26 年度教育活動等に対する学校評価書(自己評価結果書)

学校法人二葉学園 葛飾二葉幼稚園

1. 本園の教育目標

「自立と思いやりの心

- 自ら考え、自ら課題にぶつかり、自ら解決できる子
遊びや保育を通して、知的好奇心や探究心、興味、関心、意欲を引き出し、一人一人の段階に合わせて生きる力に結びつける。
- 自らを律しつつ、他者を思いやれる子
友だちが好き、先生が好き、幼稚園が好きという思いを通して、暖かい風土や雰囲気の中で他者を好きになることで、自分を律しつつ、一人でも遊べ、みんなとでも遊べることを身につけ、さまざまな場面でも他者を思いやり、自分の意思を選択できる力に結びつける。
- 健康で、がまん強いたくましい子
物の豊かさが心や身体に及ぼす影響を踏まえ、幼児期に必要な運動による身体能力の向上、心の発達、神経機能の発達を目指し、心身ともに健康な子どもに育てる

2. 本年度の重点目標

葛飾区内、とくに金町エリアでは、集合住宅などの建設により若干の幼児人口増となっているが、保護者のライフスタイルの変化から保育園志向が高まっている状況下、各私立幼稚園は特色を出しながら園児獲得を模索している。当園も、60年以上を掛けて培ってきた保育内容を精査し、園としての教育特色を整理し、保育の質の向上、環境の維持整備を行うことで、保護者の理解を得られる園を目指す。

3. 教職員による、評価項目に対する自己評価(平成27年2月下旬～3月上旬実施)

評価項目	教職員自己評価	自己評価結果
1 保育の計画性	年間計画・月案・週案・日案に沿って、細かい計画を立てつつ保育を実践した。前年度を参考に、かつ踏襲することで、行事に対する取り組みに時間をあてることができた。そのため運動会では、会場のレイアウトの変更等がありながら混乱なく行うことができた。	B
2 保育の在り方、幼児への対応	子どもたちの興味関心を引き出し、心の変化を汲み取りながら保育内容を重視して活動を進めた。 個々が持っている能力よりも少しだけ難しいものに挑戦させ、達成感を味わわせることを主なねらいとしながら、ねらいを達成できたかを適宜反省しながら翌日以降に生かせるようにした。 クラス担任だけが一人でクラス全員を見るのではなく、全保育者で全員の子どもの一人ひとり見つめ、良い所を認め伸ばせるように、子どもの小さな変化でも保育者同士で連絡し合うように努めた。	B
3 教師としての資質、能力・良識・適正	子どもに接する上では、保育者自身の人間性が重要であるという認識の元、日頃から読書・新聞を読む・芸術に触れるといった感性を豊かにすることを意識して実践。若い保育者をベテランが指導し、アドバイスを与えて能力を引き出す体制が少しずつではあるが出来ているが、課題もある。	C
4 保護者への対応	子どもたちの園での様子は、お迎え時や電話連絡、また保護者との面談等にて連絡を密に取るように心掛けた。文章でなくて直接連絡が必要な事項は、保育終了後に電話連絡をしたり直接顔を見て会話をしたりした。保護者と保育者との信頼関係は良好であると思われるが、行事への取り組み方や、保護者への伝達についてなど、課題が残っている。	C

5 地域の自然や社会とのかかわり	園が都内に位置している関係から、自然との関わりに乏しくなっており、まいがちではあるが、5年前に行った自然豊かな園庭整備が年を追うごとに徐々に実現されてきており、虫取り・木の実拾いなどの自然の中で遊ぶ計画を立てて実行した。 運動会やお遊戯会では地域の方たちにご来園いただき、子どもたちの様子、園の取り組みなどについて見ていただいた。町会の行事である盆踊りやお神輿などにも積極的に参加し交流を持つことができた。	A
6 長期休み中の預かり保育 未就園児親子教室	さくらんぼクラス（預かり保育）、およびりんごクラス（2歳児親子クラス）の充実など、子育て支援の充実化については当初の目標をおおむね達成した。	B
7 研修	年度当初より、保育研修の他、社会人研修に重点を定め、一年間を通して外部研修および園内研修を行いながら、その成果を保育者全員で話し合った。まだ課題が残っており、今後も保育者全員で問題意識を持っていけるようにする。	C

※自己評価結果の表示方法

A…十分達成された

B…達成された

C…取り組んだが達成が十分ではない

D…取り組みが不十分であった

4. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

子どもの『自立と思いやりの心』の育成を目指すための重点目標を踏まえ、充実した園運営を実施してきている。その成果として、園児募集に関しては一応の結果を得ることができた。

また、27年度は、子ども子育て支援新制度の施行に伴い、幼保連携型認定こども園に移行する。地域との連携や子育て支援、食育等においても、さらなる向上を目指し、各領域の目標とねらいを全職員での共通理解を深め合い、園目標の具現を目指して実践していく。

5. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。